

指導者講習会終了しました。

今年度は2名のスタッフが臨床指導者講習会に参加しました。看護学生の実習カリキュラムが変更になっている科目もあり、なかなか対応はむづかしくなっています。

また、年齢も様々で学生観なども複雑になってきています。でも、看護師としての根っこはどの時代も同じです。

実習指導者講習会は、看護学生への効果的な指導に必要な知識・技術（教育方法、評価方法など）を習得し、実習の意義と指導者としての役割を理解することを目的としています。

新たな学びをぜひ看護学生さんの指導に活かしてください。

看護学生さんは、実習を通して、「臨床推論」「コミュニケーション」「倫理観」そして看護師としての態度などどうあらねばいけないかを学んでほしいと思います。

奈良県看護研修センター



今年も取り組みました 年賀状



毎年行っているお正月に患者さんへの年賀状の取り組み。今年も、行いました。

今は、年賀状もlineやメールで送りますが、まだまだ、ご高齢の方は紙の年賀状もなじみがあると思います。

喜んでくれたかどうかは次回の便りでお知らせしたいと思います。



永年勤続表彰

師長さんたちと記念撮影



12月17日（水）、阪奈中央病院で永年勤続表彰式が行われ、3名が表彰されました。

3B病棟 石川 倫代さん
3C病棟 斉藤 正美さん
人工透析センター 西尾 安記子さん

長年にわたり地域医療を支え、日々業務へ尽力されてきた職員の方へ、医師会から表彰状と記念品、そして看護部からは花束が贈られました。

理事長、院長からお祝いのお言葉もいただきました。

新年

はんだしゅーなース便り

Vol. 28

発行人
看護部長室



看護部長のひとりごと

新人が入職してはや、10か月近くがたちました。成長著しいのでとてもうれしいです。

ローテーション研修の学びでは、目標達成に向かう明日のわたしに一言、できるようになってうれしかったことなどを話してもらいました。

そのような新人や2年目、3年目を見ていて最近思うことは、看護師としていろいろなことを経験しておくほうがよいと思う反面、回復期で看護をしていきたい、急性期をずっとしていきたい、手術ナースを極めたいなどの思いがしっかりあるのであれば、3年たったなら、いったんは急性期になどを考えなくてもよいのではないかと。その代わり、経験できない技術をどう学んでもらうかを考えて取り組むことにします。これも、継続して働きやすい職場づくりの一つかもしれないですね。